

## 2024年5月度 J.フロントリテイリング 百貨店事業 売上速報

※当社は2017年度から国際会計基準（IFRS）を任意適用しています。なお百貨店事業の店舗別売上高につきましては、IFRS売上収益のうち消化仕入取引を総額に置き換えた総額売上高で開示します。

※数値は速報値のため、毎月中旬に発表している確定報とは誤差が生じることがあります。

※百貨店事業以外の事業も含めた連結ベースによる売上収益報告につきましては、IFRSの確定値により毎月中旬に開示します。

## ■ 店舗別売上高対前年増減率（%）

店舗	5月度	上期累計	店舗	5月度	上期累計
大丸 心齋橋店	54.1	44.7	松坂屋 名古屋店	11.4	7.4
大丸 梅田店	11.7	8.0	松坂屋 上野店	5.8	6.2
大丸 東京店	9.5	10.2	松坂屋 静岡店	1.1	0.5
大丸 京都店	36.7	27.4	松坂屋 高槻店	3.1	2.3
大丸 神戸店	17.8	10.5	店 計	20.5	15.9
大丸 須磨店	▲1.6	▲1.8	法人・本社等	42.2	24.5
大丸 芦屋店	0.1	0.8	大丸松坂屋百貨店合計	21.3	16.2
大丸 札幌店	20.7	17.9	博多大丸	25.8	19.1
大丸 下関店	▲4.6	▲2.5	高知大丸	▲7.5	▲0.5
			百貨店事業合計	21.3	16.2

## ■ 概 況

- 5月度の売上高は、休日が対前年▲1日であったことによるマイナス影響があったものの、ラグジュアリーブランドや化粧品などを中心に訪日外国人売上が伸長し、またお得意様を対象とした催事効果などもあり、外商売上が好調に推移したことなどから、大丸松坂屋百貨店合計では対前年21.3%増、関係百貨店を含めた百貨店事業合計では同21.3%増となった。
- 店舗別では、15店舗中12店舗が前年実績を上回った。名古屋店は改装により婦人服売場の面積が▲7割減となったが、訪日外国人売上の好調などにより対前年2桁増となった。
- 大丸松坂屋百貨店合計の免税売上高（速報値）は、名古屋店、神戸店、京都店などが高い伸び率を示し、好調店舗が全国に広がっていることなどから、対前年276.4%増（客数同150.9%増、客単価同50.0%増）となり、過去最高を更新した。

【参考】5月度の大丸松坂屋百貨店の店計売上（法人・本社等の本年・前年実績を除く）は対前年20.5%増、うち国内売上高（免税売上高の本年・前年実績を除く）は対前年1.7%増となった。

大丸松坂屋百貨店合計（既存店）の免税売上高は対19年度118.4%増、対18年度168.2%増であった。

お問い合わせ先	J.フロントリテイリング株式会社	コーポレートコミュニケーション室
	IR推進担当	03-6865-7621
	グループ広報担当	03-6865-7616